

平成 29 年度 第 2 回 二宮町男女共同参画プラン推進連絡会 会議録

1. 日 時

平成 29 年 9 月 25 日 (月) 午後 6 時 30 分より午後 8 時 00 分

2. 場 所

二宮町役場庁舎 2 階第 1 会議室

3. 出 席 者

二宮町男女共同参画プラン推進連絡会委員

原会長 高見副会長

小林委員 脇委員 杉本委員

二宮町

志賀政策担当参事兼地域政策課長 須田地域支援班長

田嶋地域支援班主査

4. 議 題

- (1) 二宮町男女共同参画プランの (素案) について
- (2) その他

【説明】

- ・ 前回頂いた意見を反映し資料 1 に課題を記載した。網掛けの部分
が修正した箇所となっている。
- ・ 資料 1 と各担当課から出た意見を踏まえ改訂版プランのたたき台と
なる資料 2 を作成したので、ご意見をいただきたい。
- ・ 前期からの主な変更点として「社会環境の変化と町の現状」に平成
25 年以降整備された制度や社会情勢、国の計画、町の現状について
記載した。また、資料 3 の一覧の通りプランの施策の方向を 37 項目
から 24 項目に減らした。

【主な意見】 (○委員意見、●事務局意見)

○市町村は法に則り様々な事業を進める必要があるが、二宮町として注力するところを一つ絞る必要があるのではないか。町のアンケートでも男女共同参画の認知度は上がっているが、世の中全体で上がっているので二宮だけ特別にという訳ではない。また、「ワーク・ライフ・

バランス」といっても意識としては大事だが、二宮に大きな企業が有る訳ではないので、町外の企業に勤めている方がいれば町とはあまり関係がない。二宮町の規模や環境を考えると施策7の「地域活動における男女共同参画」に取り組んでいくのが良いのではないか。

●資料2の24ページ、25ページが「地域活動における男女共同参画」となっており、現在20名の地区長のうち1名が女性となっている。「防災会議への女性登用促進」は国の指針に基づいて決められているので、新たに平時から、女性の防災指導員を増やす事や、女性が防災また、復興の担い手であることを周知していく事が必要と考えている。

○防災会議にしても、地区長にしても、現状の選び方や職の充て方が、現状に留まっているようでは難しい。町で突破していく手立てはあるのか。具体策が聞きたい。

○長を選ぶときに女性で意欲のある方がいないと難しい。

○女性が活躍する場が色々なところに散りばめられていくと、地区長も「やってみようかな」という女性が増えるのではないか。

○地区長となるとハードルが高いため、ウォーミングアップとして副会長を女性にお願いするというのはどうか。

●地区に「女性を会長、副会長に。」と町が強要するのは難しい。意識の醸成という働きかけで、会長という大きいものに目標を置いた上で、何ができるかということをして25ページに落とし込んでいる。

○自分が男女共同参画推進連絡会の委員になったことで地域に男女共同参画に関する情報等を投げかけられるので良かった。地区長も委員となっているので色々なところに投げかけることができる。

○防災指導員に女性をと言われても、いきなり選ばれた人は何をすればよいか分からない。

●防災指導員は男性、民生委員は女性という固定観念のようなものが有るが、そういったことを突破していこうというのがこのプランになっている。

○民生委員さんが各家庭を回る時、男性と女性でペアになって訪問する必要や地域の抱える問題をみんなで共有していく必要があるのではないか。守秘義務や個人情報とかではなく、地域をより良くしていくにはどのようにしたらいいか検討する必要がある。

○地域によっての差が有ると思うので、町全体でそういう方たちが集まった時に情報交換できればよい。町でリードして、女性が活躍している地域の意見等を集約して啓発できれば良い。

○二宮町として「特にこの部分を」という課題や目標を明確になるよ

うに記載することはできるのか。

●「はじめに」というところで町の考えを町長の言葉として記載できる。

○施策のどこの番号でと明確に記載できるのか。

○プラン全体を眺めた時に二宮町でこういうところに注力するのが、町の方針だというのが有れば良い。

○16 ページで『ワーク・ライフ・バランス』という言葉を知っている」が目標値になっているが、現在「働き方改革」などが言われていて、「ワーク・ライフ・バランス」は世の中に周知されている。「『ワーク・ライフ・バランス』を心掛けた健康的な生活をしているか」の方が達成度として数値化できるのではないか。疲れきっていると感じている町民がどのくらいいるか。そういったことを改善していくために町として何をするか検討する必要がある。

●目指す姿と活動の成果指標を含めどういったものが適当か議論を願う。

○「ワーク・ライフ・バランス」と言っても自営業には難しい。こういったプランを見てもサラリーマン対象になっているようにしか思えない。個人経営でゆとりを持ってというのは難しい。改善していくためには、事業主や、個人個人の意識改革が必要だと思う。その為に町では、沢山情報を発信して欲しい。

○ホームページに載せたりすれば、世に拡散される時代なので良いかと思う。

●男女共同参画担当として情報の発信や啓発に取り組むのはもちろんのことだが、町職員が全体としてこのような考え方を理解し仕事に取り組むことによって少しずつ広げていくことが重要。

○19 ページのDVに関する対応は、啓発になるのか。町として相談体制はとれているか。

●相談を受け付け、それを一時保護や自立支援のサポート等、県の事業に繋げることが町の役割となっている。

○33 ページ「生涯にわたる健康づくりの促進」には高齢者の健康も入るか。

●「保健サービス推進事業」に町民全体の健康増進を含めている。

○今回出た意見を庁内連絡会で諮るのか。

●今回は庁内連絡会議には諮らず、出た意見に対し担当課と直接話し合い修正して、2か月以内に推進連絡会、その後庁内連絡会議を開催しパブリックコメントの準備をしていく。

- 町の特色に有った男女共同参画の考え方、啓発のやり方を担当課に返し次回の資料作成を依頼する。
- 11月上旬から中旬に第3回推進連絡会議を開催予定。
- 資料の早目の送付を依頼する。